

山梨県 桃の会

HP <http://momonokai.org> E-mail meri-sannokuni@softbank.ne.jp

会報第63号

ゴールは. . .

本人が外に出られるようになる、仕事につく
ということがゴールではない。

彼らが少しでも「自分を受け入れてもらった」という感覚. . .
それを感じ取れるようになること、人を信じられるようになること、
そういう関わりを彼らは必要としているのではないだろうか. . .

人を信じることは、自分を信じるができるようになるから. . .



出会う、つながる、わかちあう

K H J 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部

ピア Voice



親の覚悟

成人した子供が社会に出られなくなった時、親に出来ることはなんだろう. . .。

「自分を大切にしてくれる人がいっぱいいて、そのままいいんだという承認をもらわなければ生きる力は出てこない。自分で自分に安心することであり自分を大切にし自分の存在に誇りが持てるようになる」(佐々木正美) 人との関係の中で「生きる力」は、育まれていく。では、家族以外の関わり、つながりをいかにして作ればよいのだろう。

何とかしたいという思いは、彼らが一番強く持っているはずである。しかし踏み出す勇気がない。不安で一杯だから、何とかしたいと思いつつも生活が保証されている日常を選択するしかないのだろう。本人の判断、行動が難しいとなると、親の強い覚悟しかないように思う。その覚悟とは子供と決別するほどの覚悟である。

以前TV放映された、日本カモシカの子別れを思い出す。(以前会報に掲載)日本カモシカは子育てのある時期になると、子供を縄張りから追放してしまう。それは、エサをめぐる争いを避けるためだ。執拗に、執拗に子供を追いかけて、追い詰め攻撃する。

とうとう子供は諦め川向こうに逃げる。その時母カモシカは、じっと子供を見つめる。子カモシカもじっと母親の方を見つめる。お互いが立ち尽くしてしばしの間見つめ合う。親子の別れである。そして母カモシカは子供が去るのを更にじっと見守るのである。

私達人間にとっても、そういう心理的な決別が必要な時があるのではないか. . .

と思うのである。親子という存在であっても生きる道はそれぞれ違う。

親にとっては辛く悲しいことであるが、それが「子供を育てる」ということではないか。

と私には思える。子供を信じることが、親の覚悟になる。

sino

. * * * * *

引きこもりからの脱出 川田史朗さんの場合 (11月月例会から)

川田さんのエネルギーはどこから？と考えてしまう。彼の話すことにはしっかりと筋道が通っていて、しかも行動が伴っているので説得力がある。

自分を客観的に分析し整理する能力(能力と言っていいのかどうか)にも感心した。他人の事は実によく見えても自分は見えてないことが多いのが現実である。彼は「自分を知っている人」だと思った。だから、自分に正直でウソをつかない生き方を実践できる。それはとてもカッコいいと感じる。支配的であった父親との確執や、辛かったろう離婚の選択など敢えて触れたくないことであるが、自分を正直に出せる人だからこそ私達は安心感を覚えることができるのだ。素直にありのままの自分が出せることは人間的強味であり、精神的に苦しく葛藤の中でいつも自分を見失わないでいられるのもどこかに自分を信じている自分がいるからである。自分を信じる力は他を信じる力になる。

信じる力は人を呼びよせ、沢山のパワーを周りからもらってエネルギーの源となり彼の生き方の中に好循環を生み出しているに違いない。

自分をいつわらない生き方. . . そういう生き方が自分の持っている能力を引き出し

「自分を生かせる」生き方につながる。川田さんは今自分の経験を踏まえていきづらい人達の進べき方向性を共にさぐる仕事をされている。いきづらさを持つ若者の案内人として川田さんはそういう役割を託せる人の一人だと私は感じる

当事者 Voice



「今、できることを・・・」

私が桃の会に参加するようになって2年。本当に沢山の事に気付かせてもらった。以前は、私の息子がひきこもってしまった原因について、本人の特性や性格によるものだと思っていた。しかしながらこの会に参加し、様々な方のお話を聞く中で、本人の幼少期からの家族内・夫婦の関係性や親の子どもに対する関わり方などが大きく関わっていることに気づかされた。私の家庭は、夫が子育てに非協力的で、そんな夫に失望し、不満な気持ちでいっぱいの中、必死の思いで子育てをしてきた。そんな過干渉な育て方が、子が大人になって不安を抱きやすくしてしまった。

まさか自分の子どもが、こんな風になってしまうなどと思いもせず子育てをしてきてしまったこと、今更ながら子どもに申し訳ない気持ちでいっぱいになってしまう。幼少期の頃の時間を取り戻す事は出来ないし、時間はかかるかもしれないが、一度歪んでしまった親子関係を、少しずつでも修復していけたらと思う。最近、少しずつ前に向かって歩き始めた息子に負けないよう、私自身も前に進んでいけたらと思う。 haru♥

♪ 11月16日(土)に開かれた当事者スペースの報告

ぴゅあ総合2回会議室にて13時30分～16時30分 当事者、経験者5名 初参加者1名

*スペースにおける内容

- ・今、困っていることについて
- ・体調を良くするための方法、実践したこと
- ・役割について
- ・働くことについて
- ・フリートーク

*感想

毎回、様々な話題が出て、知らないことや、そうなんだと驚くことも多いです(米長)

♪ KHJ本部発行の旅立ち冊子の表紙に引き続き、スペース世話人の田中ゆういちさんの写真が使われることになりました。田中さんのこだわりと工夫の作品、楽しみです!



◆◆◆ CHANGE! GをCに変えてみたら・・・CHANCE!だね ◆◆◆

明野、太陽ファームでの大根の収穫作業

☀ 青空の下で大根作業をしました！



10月は雨が多く、予定通りに作業が進みませんでした。

11月になってようやく太陽の下で作業体験ができました。

農業は自然に左右される作業であることを実感する機会になりました。

遠くに八ヶ岳の山々を望み広々とした景色が広がる中で、昼食のおむすびを食べていた参加男性は「気持ちいいです。また機会があったら参加したい」と言っていました。

今回の参加は2名でした。

これからネギの植え付けがあるそうです。段々と寒さが増してきますが、

一回でも「やってみよう！」と思われる方は篠原までご連絡下さい。(090—6190—8677)



桃の会は家族会です！



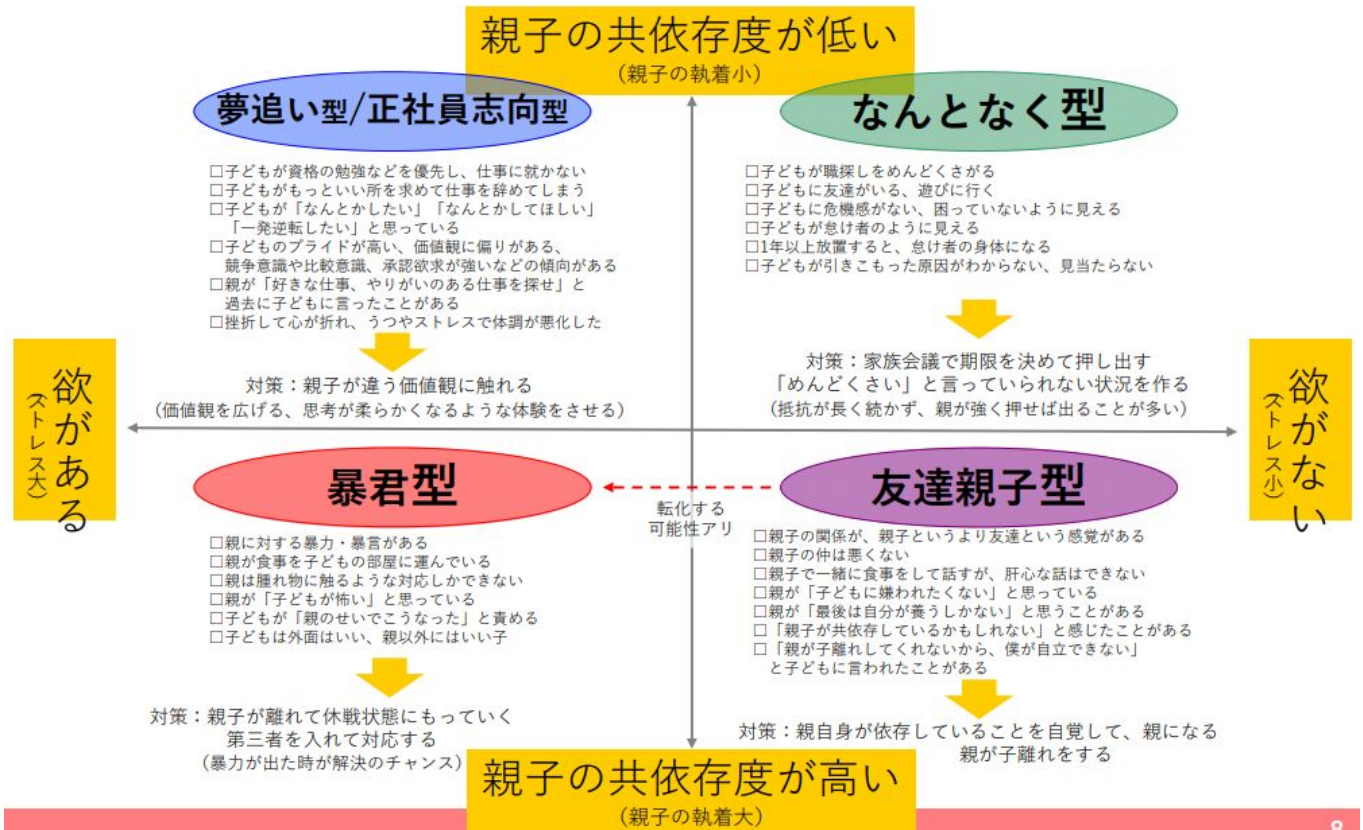
兄弟姉妹の方祖父母の方是非参加を！

親が高齢になられたり、お亡くなりになられた後、
兄弟姉妹が対応を引き継がなくてはならない事態が生じるケースが
多々あるのではないかと思います。

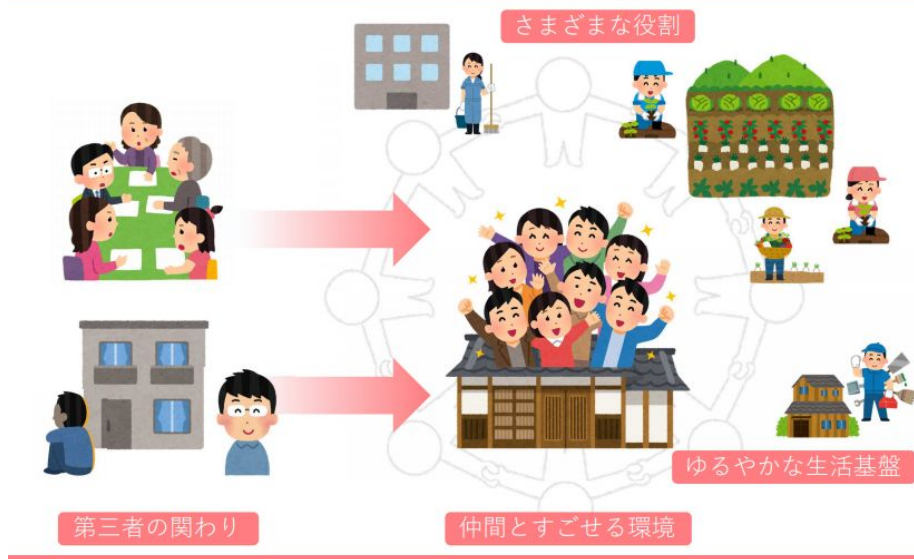
親だけでなく家族として、兄弟姉妹の方祖父母の方も会に参加頂き家族全員で
対応出来ることがとても大切であると思います。

「川田史郎さんの講演からの資料」

参考：ひきこもりの4分類（認定NPO法人ニュースタート事務局）



共生社会の実現に向けて（構想）



＊ ＊ 今回の月例会は支援関係者の方が10名余り参加下さいました。グループトークにも加わって頂き、今までと違った視点からの意見アドバイスを伺えたのではないかと思います。芦沢茂喜さんは、お忙しい時間をさいて参加頂き、何人かの方が芦沢さんと繋がることができました。皆さんのお力をお借りしながら家族会で出来ることを後押しできればと考えています。

12月月例会



トーク & カフェ

聞く・話す・自分と向き合う

皆様のご協力で今年も一年が過ぎようとしています。有り難うございました。桃の会の活動が皆様の心に何かをお届けすることができたでしょうか。 . . . ?

今回は簡単なカップケーキと飲み物を用意します。コーヒーを飲みながらゆったりとしたトークの時間をお過ごし頂ければと思います。桃の会への要望、ご意見などもお伺いできればとても有難いと思います。これからも今出来ることを一つ一つやっていきましょう。沢山の方がお出かけ下さいますように。 . . .

- * 日時 12月15日(日) 13:30~16:30
- * 場所 山梨県福祉プラザ 4F大ホール
- * 参加費 一家族 1000円 (当事者は無料)



当事者スペース

12月15日(日) 13時30分~16時30分 福祉プラザパソコン室



12月ミニグループトークはお休みです！

12月は月例会で全部トークの時間を設けますのでミニグループトークの時間は設けません。月例会を今年最後の集まりとします。是非15日の月例会にご参加願えればと思います。コーヒーとケーキを頂きながらゆっくりとトーク時間を過ごしましょう。

農園でギャザリングしよう！ 画55㎡(約17坪)1年間 市民農園：1区6.000坪 場所：甲府市七沢町 友達、家族などと一緒に畑で過ごしませんか！ お問い合わせ：055-243-0261(相良農園)	すみれ会 月例会 12月14日(土)13:30~15:30 場所：南アルプス市市民活動センター お問い合わせ：090-5416-8748(清水) *すみれ会は桃の会とは別に地域で活動している家族会です
自然の中で農作業(さくらんぼ・西洋梨)に関わりながら 社会に出るきっかけのお手伝いが出来ればと思います。 ご興味のある方は、御連絡下さい 岩原果樹園(090-8178-8031)	



1月の予定

- 月例会 1月13日(土) ぴゅあ総合 会議室
- 当事者スペース 1月13日(土) ぴゅあ総合 小研修室2
- ミニトーク 1月26日(日) ぴゅあ総合 3F音楽室

お問い合わせ TEL&FAX 0266-55-5411 090-6190-8677 桃の会事務局

